

## ハーセプチン+ロゼウス（ナベルビン）療法

患者番号：&tagPatNo& 氏名：&tagPatName& 性別：&tagPatSex&

生年月日：&tagPatBirth& 年齢：&tagPatage&

部位； （ 乳腺 ）

薬液注入ルート；（ 末梢点滴静注 CVライン ポート）

開始年月日； 年 月 日

投与間隔； 21日間隔で1サイクル

体格； 身長 \_\_\_\_\_ c m 体重 \_\_\_\_\_ k g 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

使用薬剤；

① ロゼウス \_\_\_\_\_ m g ( 25 mg/m<sup>2</sup> ) 2週投与1週休薬

① ハーセプチン \_\_\_\_\_ m g (初回)

\_\_\_\_\_ m g (2回目以降)

(初回のみ 8mg/kg 以後 6mg/kg) 3週毎

制吐薬 グラニセトロン注

【処方が必要な内服薬】

※初回のみ ジクロフェナク坐薬 25 mg ハーセプチン開始 30 分前

※2回目以降必要時 カロナール (200) 2錠 発熱時

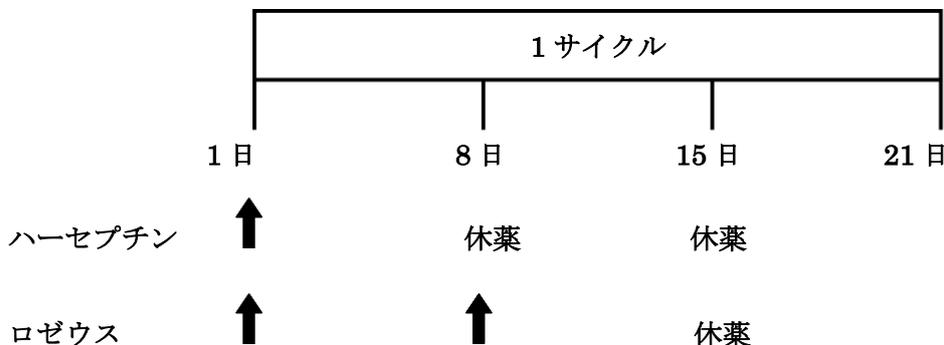
骨髄抑制、アレルギー、心不全、間質性肺炎 **infusion reaction** に注意

38℃以上の発熱時には投与を延期したほうがよい

E F 値 (心エコーを施行する) 50%以上が望ましい

心疾患有り (6~8週毎)

心疾患無し (12週毎)



HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介

HBs 抗原(-) →  HBs 抗体(-) and HBc 抗体(-)

HBs 抗体(+) and/or HBc 抗体(+)

HBV-DNA 定量(-) → 3ヵ月毎 定量

HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン \_\_\_\_\_